

# 一般質問の要旨



**一般質問とは**、議員が市長などに対し、行政全般にわたる事務の執行状況や将来の方針等を確認するものです。

第 1 回定例会では、11人の議員が一般質問を行いました。  
なお、※印の用語は 7 面に解説を掲載しています。スマートフォンなどの端末で、タイトル内の二次元コードを読み取ると、それぞれの録画映像がご覧いただけます。



## 男女共同参画社会の実現に向けた 職員の女性活躍推進を

田中 謙二(自民・維新の会)

**問** 市長の考える男女共同参画社会とは。正規職員と会計年度任用職員の処遇格差等について、男女共同参画社会の実現の視点、女性活躍推進の観点から市長の認識を問う。  
**市長** 性別役割分担の見直しや柔軟な働き方の浸透が、男女ともに活躍できる社会の実現に向けた行動変容につながる。男女共同参画、女性活躍とあえて言う必要のない社会が理想。  
**問** 調布市特定事業主行動計画の策定・推進に当たり、会計年度任用職員の位置づけを問う。  
**総務部長** 特定事業主行動計画の内容を人材育成総合プランに

位置づけ、今後も会計年度任用職員含む全ての職員が安心して働き続けられるよう取組を推進。  
**問** 会計年度任用職員の再度の任用は連続 4 回が上限と規定されている。一般事業主に対し率先垂範する立場の市は任用制限の見直しが必要。回数制限を撤廃し、雇用の安定に資すべきと考えるが、市の考えを問う。  
**総務部長** 各自治体で人材確保が難しくなっている現状踏まえ、任用更新回数上限規定を見直し、上限を超えた任用も可能とする運用を検討。職員団体とも協議。  
**問** 職員の約半数を占める会計年度任用職員の活躍なくして行



青山 誠(チャレンジ調布)

## 理科教育の現状と科学センターを 活用した科学教育を問う

**問** 近年、科学・技術・工学・数学に力を注ぐことで国際競争力のある人材を育てる STEM 教育、あるいはそこに芸術・リベラルアーツを加えた STEAM 教育の必要性が叫ばれる中、市内小・中学校における理科教育について①現状どのような具体的な取組が行われているか②どのような課題を持っているか  
**教育長** ①自然への親しみや関心を高め、目的意識を持って観察・実験などを行うことで、科学的な見方や考え方を養うことを狙いとした教育活動を展開②実験器具の使用目的や正しい扱い方などを、実際に触れること

で学ぶ、体験的な学習の一層の充実が必要であると認識。  
**問** 杉並区は次世代型科学教育の拠点「IMAGINUS」を新たにオープンし、つくば市は体験型科学教育事業「つくば STEAM コンパス」を実施している。調布市の「科学センター」は、布田小学校内にあり市立小学校第 5・6 学年を対象に科学教育の振興を図っている。この「科学センター」について①特色は。現状どのような具体的な取組が行われているか②どのような課題を持っているか  
**教育部長** ①観察・実験を中心とした講座を明治大学付属明治



布田小学校内の科学センターの様子

高等学校・明治中学校や電気通信大学をはじめとした大学や企業の協力で実施。光ファイバーを使った工作、レスキューロボットの操作体験等、専門的知見を生かした内容で子どもたちの興味関心を引く魅力ある講座の充実にも努めている②人気事業で、毎年度、定員を大きく超える申込みで受講できない児童が多い状況が課題。定員の拡充を含め、科学センター事業の充実を検討



第 5 次調布市男女共同参画推進プラン  
概要版の表紙

政サービスの継続はない。会計年度任用職員のモチベーションを一層引き出すための人事施策について問う。  
**総務部長** 6 年 4 月以降、会計年度任用職員の全職種の時給単価を一律引上げ。新たに勤勉手当の支給に向けて検討。育児や介護休暇の有給化等、処遇改善に資する制度拡充を図る。  
◆このほか、多機能自動販売機について質問しました。



## 農業政策及び 地域スポーツについて

佐藤 亮彦(自民・維新の会)

**問** 市内の農地面積が減少する中、営農する方を手厚く守る必要がある。営農者の要望を踏まえた施策とは。農業政策の現状を問う。  
**市長** 市独自補助制度の拡充等営農支援を通じて、都市農地の保全・活用に取り組んでいる。  
**産業部長** 都の補助制度で農業用井戸の設置や農地創出等を支援。JAMINUS と連携し都市農地の貸借円滑化法の活用周知。  
**問** 都市農業の運営を考えると、市民の農業体験の機会確保は重要。市内では、民間企業経営の農園、市民農園、農業体験ファームが運営されている。市民の農業体験の機会確保について市の考えを問う。  
**産業部長** 農産物直売所マップで農業体験の情報発信や JAMINUS と連携し小学生対象の体験学習農園で農業への理解促進。市民農園や、農家が農園主となる農業体験ファームの運営支援等で市民が農に触れる機会確保。

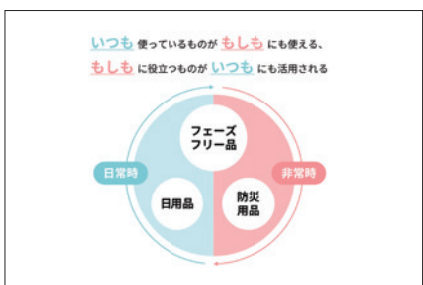
**問** 部活動の地域移行について、都は 7 年度末には全公立中学校で地域連携、移行に向けた取組の実施を目標としている。部活動の地域移行に関する現在の検討状況と今後の展望を問う。  
**教育部長** 教育活動の充実と働き方改革の一環で部活動指導員



澤井 慧(自民・維新の会)

## デジタル技術を活用した防災対策と フェーズフリーの推進を

**問** 元年台風第 19 号の経験を踏まえた災害時の市 H P の改善点と新たな取組を問う。  
**行経部長** サーバー負荷少ないネットワーク導入。H P リニューアルで緊急情報を上部に配置。災害発生時におけるデジタル技術を活用した市の情報収集体制について問う。  
**危機管理監** D I S で被害状況等収集・共有。市の L I N E でも情報収集しマッピング等で活用。  
**問** 災害時に、地域内において SNS 上でデマ情報や拡散された情報の対応について問う。  
**危機管理監** 市 H P 等を通じて注意の呼びかけと打ち消し情報を発信。  
**問** 悪質なものは警察に通報。避難所におけるデジタル技術を活用した情報通信体制や情報連携体制について問う。  
**危機管理監** 全小・中学校にデジタル防災行政無線等配備。今後スマートフォン配備も予定。  
**問** 本市が被災した場合、他自治体からの受援体制と、支援物資を円滑に避難所へ届けるための体制についての現状と今後の取組について問う。  
**市長** リアルタイムでの防災備蓄品管理システムの一部試験導入を実施。デジタル技術の活用を念頭に地域防災計画修正や受援応援計画の策定に取り組む。



フェーズフリーについて (出典：一般社団法人フェーズフリー協会)

**問** フェーズフリーについての職員の理解促進や意識醸成に向けた取組を問う。  
**行経部長** 5 年からフェーズフリーアドバイザーを委嘱し、継続的な意見交換や研修会等実施。  
**問** フェーズフリーの考え方を取り入れた市民に見える形での取組について問う。  
**行経部長** 調布駅前広場等でフェーズフリーの視察踏まええた整備を推進。市 H P 等で周知。



調布市内で収穫された野菜

の配置を段階的に拡充。今後、関連の部署や団体参加の協議会を立ち上げ地域連携に向け検討。  
**問** 市にはスポーツに関する資産が豊富に存在する一方、老朽化の進む施設も多い。市の地域スポーツの環境整備について、考えを問う。  
**生文部長** 公共施設マネジメント計画に基づき、安全で快適な利用環境の向上とスポーツ環境の整備に取り組む。